

対策一覧表

◎完了
○完了見込(実施中含)
▲検討中(未定含む)
×実施なし

【山内小学校】

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策内容	事業主体	対策年度	H30以前	R1実施状況 (R1.8.20点検)	R2実施状況	R3実施状況 (R3.10.15点検)	R4実施状況 (R4.8.9点検)	R5実施状況	R6以降の予定	実施 状況	前回 実施状況
1	市道相野々駅前線	土測字菅生	縁石付きの正規の歩道は中間の部分だけ、学校に近い部分は、車道と歩道を取り外し可能な柵で仕切られている。積雪期になるとその柵が取り外され、仕切りがなくなる。	①除排雪作業の徹底による歩道幅員の確保 ②路面標示(グリーンベルト)の設置検討	①②市	①平成27年度 ②平成28年度	H27年度：①実施 H28年度：②グリーンベルト設置	①継続実施	①継続実施	①継続実施	①継続実施	①継続実施	①継続実施	①○ ②◎	①○ ②◎
2	市道鶴ヶ池線	土測字鶴ヶ池	一部ガードレールの無い区間があり危険である。また、降雪期になると道幅が狭くなる。	①児童への交通安全指導(岸の反対側を通行) ②沿線の枯れ松処理	①学校 ②市	①②平成27年度	H27年度：①安全指導、②処理	①継続指導	①継続指導	①継続指導 ②倒木・枝折れしたものは随時伐採。定期的に通路パトロールをし状況確認している。	①継続指導 ②倒木・枝折れしたものは随時伐採。定期的に通路パトロールをし状況確認している。	①継続指導 ②倒木・枝折れしたものは随時伐採。定期的に通路パトロールをし状況確認している。	①継続指導 ②倒木・枝折れしたものは随時伐採。定期的に通路パトロールをし状況確認している。	①○ ②○	①○ ②○
3	国道107号	土測字下虫内	国道107号相野々橋と並行して歩道が設置されているが、橋と歩道間に転落防止柵がなく、危険である。	・安全施設(防護柵)の設置検討	県	平成27年度	H27年度：設置済							◎	◎
4	県道横手東成瀬線	土測字二瀬	①②県道横手東成瀬線相野々橋の欄干が低く、大変危険である。 ③橋前後の親中により歩道部分が狭くなっており、運転者・歩行者へ注意喚起。 ④山内体育館方向の橋の脇に川へ流れる急な側溝があり、転落する恐れがある。	①児童への交通安全指導(注意喚起) ②欄干の高上げ要望 ③橋前後の親柱を目立たせる ④転落防止策	①学校 ②～④県	①②平成27年度 ③令和3年度 ④令和4年度	H27年度：①安全指導、②検討 H28年度：①防風柵設置	①継続指導	①継続指導 ②欄干の高上げ完了	①継続指導 ③橋前後の親柱を蛍光塗料で塗り注意喚起済み	①継続指導 ④転落防止策済	①継続指導	①継続指導	①○ ②◎ ③◎ ④◎	①○ ②◎ ③◎ ④◎
5	市道小学校菅生線	山内土測字菅生	小学校へ入る丁字路に「止まれ」の標識が必要。	①警戒標識又は看板の設置 ②指導線の設置	①②市	①②平成29年度	H29年度：①要望、②設置済 H30年度：実施済	①実施済を確認(H30実施)						①◎ ②◎	①◎ ②◎

番号 1

現況



対策後



番号 4

現況



対策後



番号 2

現況



対策後



番号 5

現況



対策後



番号 3

現況

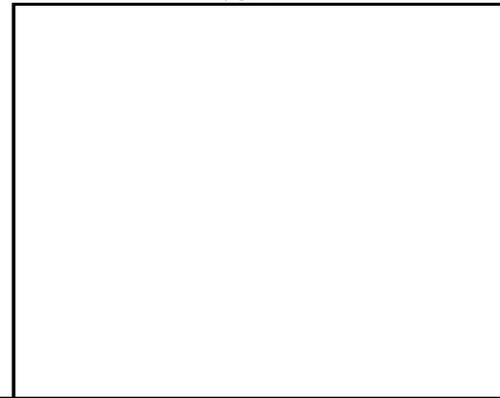


対策後



番号 6

現況



対策後

